

未来へ！

高知市立十津小学校
2019. 6. 17
第 10 号

求める児童像

心豊かな子
自ら学ぶ子
たくましい子

先週は、人権・道徳参観日に、多数来校いただきありがとうございました。各学年が自分自身や友達の良さに気づく学習をしたり、違った価値観を認め合ったりする授業を通じ、豊かな心や思いやりの気持ちを身に着けることができたのではないのでしょうか。また、4年生の学年親子行事を兼ねて、落語家の淀家萬月さんのお話をお聞きし、人権感覚を磨くこともできたのではないかと思います。

この学習を通じ、自分も仲間も、社会も環境も大切にする心が育ってくれることを期待しましょう。



人権・道徳参観日で「あすチャレ！スクール」開催

5, 6年生を対象に、「あすチャレスクール」を開催しました。「あすチャレスクール」とは、明日へのチャレンジの愛称です。子どもたちがパラアスリートとともに行うスポーツ体験を通じ、これまでとは違った景色が見えてきたり、アスリートのリアルな声を聴いたりすることで、人間の多様性や強さ・すごさを実感できる体験型授業です。今回の講師は、シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテンの根木慎志さんです。根木さんは高校生の時の突然の交通事故で脊髄を損傷し、車いす生活となってしまいましたが、知人の勧めで出会った車いすバスケットボールに打ち込み、日本代表選手となります。現役時代から「出会った人と友達になる」をライフテーマに、現在は全国各地の小中高等学校で講演やパラスポーツの体験授業を行っています。

今回の体験学習では、5, 6年生や先生方がチームを作り、実際に車いすバスケットにもチャレンジしました。子ども同士のゲームも、先生同士のゲームも大変白熱し、「応援の子どもたちの声が一体化した素晴らしい試合でした。」と根木さんやスタッフの方から、評価の言葉を頂きました。参観して下さった保護者の方も心一つにして、夢中になって応援してくれました。試合後の子どもたちの感想からは、「難しかったけど、すごく楽しかった」「車いすの性能がすごかった」「クラスの仲間やお家の人の応援が力になった」といった声が聞かれました。

ゲーム終了後、聴衆者をひきつける根木さんの軽快なトークで体験談や熱い思いを聞いた子どもたちは、①他者のことを自分事として考える、②障がいとは何か？③可能性に挑戦する勇氣、④「夢」や「目標」を持つ力の、4つの学びを実感したことでしょう。



今年も強力な助っ人が参上！！

今年も、5年生の家庭科裁縫実習に、支援本部の皆さんが駆けつけてくれました。玉止めと玉結びを、子どもたちに丁寧に指導してくれました。普段、針や糸を使うことがほとんどなくなった子どもたちは苦戦しながらも、粘り強く裁縫に取り組んでいました。ボタン付けができるくらいまで行ってほしいなと願っています。支援本部の皆さんに感謝！感謝！！です。

